

海とさかなとわたしたち
 二年 いとうまりあ
 わたしは、海を見たことはありませんが、海の魚の名前はしりませんでした。
 父が
 「海の魚、何し？ てる？」
 と、きいたのど、わたしが、
 「うなぎ。」
 と答えたら笑われました。つぎに

【海外子女教育振興財団】

わたしは、にぼしが、大好きです。ふくろがら出してそのまま食べています。でも、にぼしが小さな鰯だとはいりませんでした。
 ヌナ缶も、まぐろの筋肉だそうぞす。父がはさみでにぼしを二つに切つて、
 「ほぐ、缶づめのなかみとにてるだろ？」
 とおしえてくれました。
 ツナ缶もにぼしも、たやるとしよ。ばかたです。
 「これが海の魚の味だよ。」
 と父が言いました。
 それから、カツターでにぼしのかいぼうをしました。しっぽにおつうじとかおしつことかたまつてるのかと、思いました。でも、じつはしっぽには、筋肉と骨しかありませんでした。えらは魚がいきをすうところぞす。ルィヤで大きくして見たら、グラインドのような形をしていました。内臓は、あたまのちかくにあつまつていました。

【海外子女教育振興財団】

目やのうや口もかんさつしました。
 うちには、ちかくのみずうみでとってきた
 小さな魚が五ひきいます。からだが見え、から
 っているので、にほしとくらべて見て、から
 だのなかがみがよくわかりました。
 ぎょうは、母がジード・スパゲッティを
 つくってくれました。たごとほたてが入って
 おいしかったのです。もっと海の魚をしりたい
 です。

【海外子女教育振興財団】